

# Tiger Box

## SANファイル共有ストレージアプライアンス

### ワークグループのデータ共有にお困りですか？

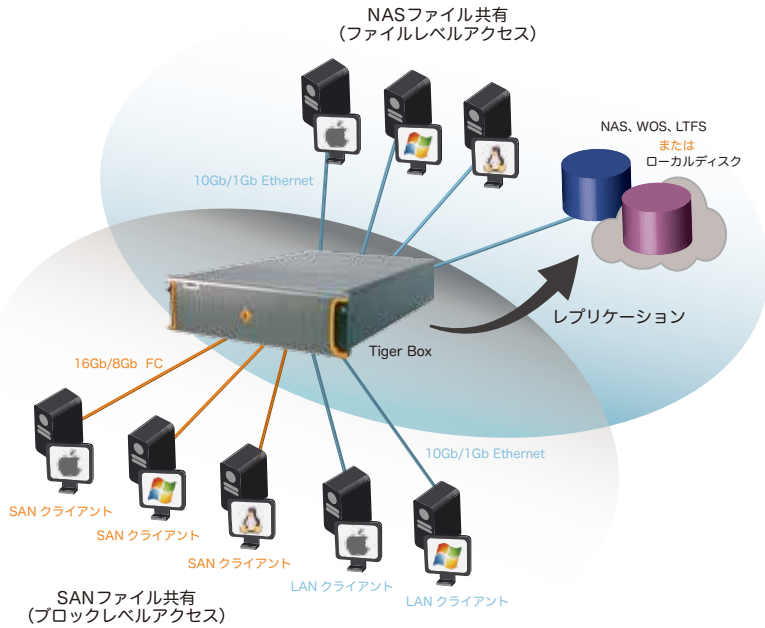
- ・リッチメディア編集に適した共有ワークフローを探している。
- ・多機能アプライアンスで手軽にSANファイル共有したい。
- ・インターフェースやクライアントOSを柔軟に選択したい。
- ・クライアントや共有ストレージを簡単に管理したい。

Tiger Box なら、  
小～中規模の  
SANファイル共有を  
簡単に構築できます。

Tiger  
Box

### SANストレージ体型アプライアンス

- 必要な機能がすべて組み込まれたアプライアンスで、すぐにSANファイル共有が可能。
- SANストレージをWindows、Mac、Linuxワークステーションのローカルディスクとしてアクセス。同時にファイルサーバーサービスも稼働。
- Avid、Adobe、Apple、Autodeskを含む多くのクライアントアプリケーションに対応。
- クライアントの接続は多様なインターフェースが選べ、スイッチレスで接続。
- 無制限のクライアントライセンス付属。
- 拡張筐体4台、ストレージ容量480TBまで拡張可能。
- ストレージプール、自動デフラグメンテーション、連番付きシーケンシャルファイルの自動最適化。
- リッチメディア編集プロジェクトマネージメント。
- レプリケーションとティアリング。
- WebベースのUIで、どこからでも設定や管理が可能。



特徴	
オールインワンのアプライアンス	メタデータコントローラ、ストレージ、共有ソフトウェア、プロジェクト管理ソフトウェアが一体化。小～中規模のワークフローに最適。
クリエイティブアプリケーションのサポート	Avid、Adobe、Apple、Autodesk、FilmLight、Blackmagic、Edius など。
柔軟な接続	16Gb/8Gb FC、10Gb/1Gb Ethernetから接続を選択、混在も可能。
ダイレクトな接続	Windows、Mac、Linuxのクライアントを16台まで筐体背面に直接接続、スイッチは不要。
クライアントライセンス無制限	任意の台数のクライアントにドライバをインストールして、共有ストレージにアクセス。クライアントライセンスのアクティベーションは不要。
IT管理の手間を削減	使いやすいWeb UIでTiger Boxを一元管理、専任の技術スタッフは不要。
オプション機能	
projectStore PRO	projectStoreの機能に加え、ユーザーのアクセス権設定、プロキシ生成、メタデータによる検索、プロジェクトテンプレートの作成が可能。
レプリケーション&ティアリング	共有ボリュームのフォルダをレプリケート後、インデックス(スタブ)ファイルと置き替えストレージ容量を節約。ストレージ階層化を実現。

主要機能	
管理ツール	Tiger BoxのWeb UIから初期設定、ドライバのダウンロード、RAID構成、各ステータスの閲覧、ストレージのメンテナンスを実施。
projectStore	プロジェクト単位で仮想ボリュームを作成。Avid FSエミュレーションによりAvidピンロックをサポート。
自動デフラグメンテーション	Tiger Box独自のデフラグエンジンが、ファイルの断片化を軽減。共有ストレージのトラフィックが合計10MB以下のアイドル状態の時、自動でデフラグを開始。
連番付きシーケンシャルファイル最適化	共有ストレージに保存された連番付きシーケンシャルファイルを自動で最適化。
ストレージプール	メインのストレージと、拡張筐体のストレージを1つの仮想ボリュームとして共有。(WindowsとMacクライアントのみ対応)
イベント通知	Tiger Boxのシステムにクリティカルなイベントが発生した場合に、登録アドレス宛にメールを自動送信。
Active Directory サポート	既存のActive Directoryに基づき、共有ストレージへのアクセス権を管理。
SMB/CIFS 共有	ドライバを持たない同一LANセグメント上のコンピュータに対し、共有ボリュームまたはフォルダをSMB/CIFS共有として公開。



Tiger Box 筐体前面



Tiger Box 筐体背面

### Tiger Box システム仕様

筐体 (寸法)	3U 19 インチラックマウント (奥行 685mm × 幅 480mm × 高 133mm)	
ストレージ	16 x 3.5" ホットスワップ対応 SAS ドライブ 7200rpm (3TB、4TB、6TB)	
重量	40kg (ドライブ 16 台込み)	
製品保証	センドバック三年間	
電源モジュール	ピーク 720W (常時 300W) デュアル、ホットスワップ対応	
ポート	USB 2.0 x 1 (ファームウェアアップデートおよびシステムリカバリ用) 1Gb Ethernet x 2 (初期設定および公衆通信用) SAS 6G x 2 (拡張筐体用外部インターフェース)	
拡張筐体 (オプション)	16 x 3.5" JBOD を mini SAS 経由でデジチェーン	
ファンモジュール	4 x 80mm システム冷却ファンモジュール	
Tiger Box 搭載 OS	Windows Server 2012 R2 (64-bit)	
RAID コントローラ	RAID 0、5、6	
セキュリティ権限	Active Directory 対応、projectoStore PRO によるプロジェクト管理	
システム起動ドライブ	2 x 2.5" RAID 1 (ミラー)	
クライアント用インターフェース物理パフォーマンス (混在可能)	16Gb/s Fibre Channel 8Gb/s Fibre Channel 10Gb/s Ethernet CNA (IP または FCoE) 1Gb/s Ethernet (IP)	最大 1,500MB/s 最大 820MB/s 最大 1,100MB/s 最大 115MB/s
<small>※任意のクライアント上で測定されたパフォーマンスは、他のクライアントの使用状況だけでなくクライアント OS、ドライブ、アプリケーション固有の I/O パターンに依存します。上記数値はお使いの環境を反映しない場合があります。</small>		
クライアント環境	Windows、Mac、Linux	
オプション	projectoStore PRO レプリケーション&ティアリング	
その他付属品	ラックレールキット、スペアディスク (オプション)、電源ケーブル 2 本、ネットワークケーブル 1 本、フロントベゼル、リストア用 USB フラッシュドライブ <small>※クライアントと Tiger Box 間の接続インターフェースケーブルは含まれません。</small>	

※上記仕様は予告なく変更される場合があります。

### Tiger Box パフォーマンス目安\*

最大転送レート	シーケンシャル Read シーケンシャル Write Tiger Expansion シャーシ増設時	1 筐体あたり 1,600MB/s 1 筐体あたり 1,200MB/s 最大 3,500MB/s
Large I/O パフォーマンス (ドライブ 16 台構成時)	1 筐体あたり 950MB/s	同時アクセス大容量ストリーム数の例： 24 ストリーム x ProRes HD 編集 6 ストリーム x HD 非圧縮編集 3 ストリーム x 2K カラーグレーディング
Small I/O パフォーマンス (ドライブ 16 台構成時)	1 筐体あたり 250MB/s	同時アクセス小容量ストリーム数の例： 64 ストリーム x DV 編集 48 ストリーム x DVCPRO50 編集

\* 共有ストレージのパフォーマンスは、ドライブ台数と RAID コントローラの性能に加え、テスト環境によっても大きく異なります。各ストレージメーカーが公表する最大転送レートとは、最も良い条件で測定した性能を指し、一般的に他のオペレーションが行われていない状況で RAID から単一のファイルを読みもしくは書きするケースを想定しています。この際、ドライブのヘッドはあまり動く必要がないためシークタイムが短くなり、結果として高い転送性能が得られます。この最大転送レートはストレージ製品の性能を比較する場合に有益ですが、複数のユーザーが異なるファイルに対して同時に Read または Write する SAN 共有においては、現実的な数値ではありません。SAN 環境下ではドライブのヘッドは休みなく再配置を行わなければならないため、より長いシークタイムが必要になります。アクセスするデータの I/O サイズも性能に大きな影響を与え、Large I/O はシークタイムが比較的短くデータ転送の効率が良い一方、Small I/O はより長いシークタイムを必要とします。上記数値はすべて、ボリューム容量使用率 60% 以内程度を想定した参考数値であり、性能を保証するものではありません。

[輸入販売元]



エムアイシー・アソシエーツ株式会社

〒103-0004

東京都中央区東日本橋 3-12-12 櫻正宗東日本橋ビル

Tel:03-5614-3757 Fax:03-5614-3752

mic\_sales@micassoc.co.jp

www.micassoc.co.jp

[販売店]